ジャパントラストかわら版
情熱羅針盤
vol.195

現地直送

北米西岸港湾の近況レポート

依然アメリカ西海岸の港は混雑しています。西海岸に到着してもターミナルに入れず沖待ちしている本船数は一時期よりは減ってはいるものの、いまだ沖待ちしている本船は多数あり、ターミナル内はまだまだ混雑しているという状況に変わりはありません。ちなみに、この沖待ち本船数の減少は、中国各都市でのコロナゼロ対策によるロックダウンにより、一時的に中国発貨物が激減しているという要因が大きく関わっており、ロックダウン解除後の出荷が一気に始まれば、すぐに以前のような沖待ち１００隻以上のレベルにまで戻る可能性もあると言われています。いずれにせよ、アメリカへの輸入コンテナ数がすでにPortでの処理能力を超えていることは明白で、今後どのようにPortでのオペレーションを効率化し処理能力を上げていくかがキーになっていきますが、ここで大きく立ちはだかるのがアメリカのPortのUnion（労働組合）の問題となります。２０２２年７月は、アメリカ西海岸Portの使用者側と労働者側（Union）の労使協定の更新時期ですが、毎回この更新時には労使間の熾烈な対立が起こるのが通例で、今年は港の自動化が一番の焦点になっており、効率化のために港の自動化をすすめたい使用者側と、自動化は労働者の削減につながると反対する労働者側（Union）の熾烈な争いが起こると予想されています。

具体的な予想としては、まずは労働者側がスローダウン戦術（作業の非効率化をわざと行う）を取り、よりよい条件での協定締結を目指すということが予想されますが、すでに大混雑が起きているこの状況で、更にスローダウン戦術が始まれば、アメリカ西海岸経由の物流が壊滅的なダメージを起こすことは明らかです。
もちろんアメリカの国としては、これ以上の物流混乱を避けたいことは明らかですが、アメリカにおける労働者組合（Union）は本当に強固で、権利を勝ち取るためには、なりふり構わずあらゆる手段を取ってきます。
現在、労使協定でのさらなる混乱を懸念して、数多くの問い合わせをいただきますが、現時点で言えることは、物流を止めないためにも、本当に起こりうる最悪の事態（使用者側のロックアウト（労働者を港から締め出し）、労働者側のストライキ）と認識し、あらゆる事前準備を対策していただくことを推奨します。
具体的な対策については、お客様の物流状況に応じて提案させていただきますので、弊社まで相談ください。

米国法人Great Luck Inc. General Manger 神谷より

●米国西岸港湾ストライキの可能性とその物流対策

・ストライキの可能性とその影響予測
・今から打つべき対応策

を、メール本文に記載しましたので、ご参照ください。

下のQRコードでもご覧いただけます。

新ロジスティクスプランナーの紹介

皆様こんにちは!

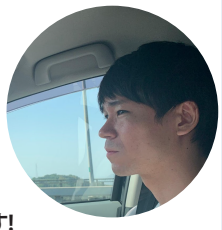
この度ロジスティクスプランナーに異動になりました横家甲樹と申します。

入社してから3年間と東京案件の業務を担当させていただいておりましたが、
この度の人事異動に伴い名古屋のロジスティクスプランナーを担当させて
いただくことになりました。

業務出身ならではの知識と経験をもとに、
皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。

先日蔓延防止措置も明け、徐々に外出もできる状況になってきておりますが、
皆さんいかがお過ごしでしょうか。

自分はコロナ渦のため家でお酒を飲むことに慣れてしまい、
相変わらず缶ビールを飲んで夜を過ごしております。
おいしい料理があってこそのおいしいお酒だと思うので、
そろそろおいしい居酒屋でおいしいビールを飲みたいなと
常々思っております。



まだ大変な時期であることは変わりないですが、
何も考えずにお酒を楽しめる日を心待ちにしております。

皆様にもマスクなしでお会いできる日を楽しみにしております!
外勤営業としてはまだまだ未熟者ですが、
より良いサービスをご案内できるように精一杯頑張りますので宜しくお願い致します!

【6月のアメリカの祝日】6月19日　Juneteeth / 奴隷解放記念日